

# 消防学校だより

## 令和4年11月号

発行年月日 令和4年11月30日  
発行 宮崎県消防学校

### 救急科（呼吸循環資器材取扱、各種搬送法）

11月3日（木）、呼吸循環資器材の取扱い及び各種搬送法の訓練を実施しました。

「救急業務とは、災害により・・・傷病者を医療機関その他の場所に搬送することをいう。」と消防法第2条第9項に定義されています。適切な資器材を用い、適切な体位で傷病者の搬送ができるように訓練しました。



### 救急科（酸素投与・体位管理）

11月8日（火）、酸素投与及び体位管理について学びました。

吸入気に空気より高い濃度の酸素を加えることによって、組織に生じている酸素不足を補い、改善を図るという酸素投与の目的を理解し、酸素投与の適応と、患者の体位管理について訓練しました。



### 救急科（処置訓練）

11月9日（水）、処置訓練を行いました。

救急事案発生後、現場にいち早く到着し傷病者に最初に接するのが救急隊員となります。

消防職員が行う応急処置の手順について理解し、迅速な観察、判断、処置、評価を行い、刻々と状態の変化する傷病者への対応を訓練しました。



### 救急科（ターニケット、サムスリング）

11月14日（月）、宮崎大学医学部 落合 秀信教授からターニケット及びサムスリングの取扱いについて指導を受けました。ターニケットは四肢の結合部の出血や四肢が切断されるなどの、動脈性の出血で他の止血法によって制御できないときの止血のために、また、サムスリングは不安定骨盤骨折やその疑いがある場合に骨盤を外周から圧迫固定し危険な出血を止める有効な応急手当装具です。

有事の際に適切な対応がとれるように、手技の向上を図っていきます。



## 救急科（外傷現場における初期観察と救急処置）

11月16日（水）、都城市消防局救急隊を講師に招き、救急現場における外傷初期観察の講義と実技指導を実施していただきました。

高エネルギー外傷による傷病者においては、搬送途上での適切な処置が予後を左右すると言われており、搬送途上における処置の標準化が救命率の向上には不可欠です。活動現場での各段階において必要とされる観察・処置を見落としなく迅速に行うための訓練を行いました。



## 救急科（資器材取扱い LUCUS 3）

11月16日（水）、日本ストライカー株式会社  
の講師による、ルーカス3（心臓マッサージシステム）  
の取扱いに関する講義を実施していただきました。

現在、多くの救急車に装備してある資器材で、  
これから使用しなければならない現場に出動すること  
もあると思います。適切に、迅速に取り扱えるよう  
機器の詳細について学びました。



## 救急科（資器材取扱いクローバー3000）

11月18日（金）、コーケンメディカル株式会社  
の講師による、クローバー3000の取扱いに関する講  
義を実施していただきました。同器は胸骨圧迫＋人  
工呼吸のオールインワンシステムで、絶え間ない酸  
素化血液循環を行う資器材です。



## 救急科（異物除去）

11月28日（月）、器具を使用した異物除去の  
実技訓練を実施しました。異物除去は、救急隊  
員の行う応急処置の基準 第六条第二項 意識、  
呼吸、循環の障害に対する処置（ア 気道確保  
（ア）吐物及び異物の除去）に定められている  
項目なので確実に身に付けましょう。



## 救急科（多数傷病者訓練）

11月30日（水）、多数傷病者発生時の指揮要領、部隊活動及びトリアージ等の基礎的行動訓練を実施しました。

「一般道路にて普通乗用車と乗合バスの衝突事故が発生し、歩道を歩いていた通行人も巻き込まれた」との想定で、現場出動隊、現場指揮本部、通信指令室の役割に分かれて実施しました。多数傷病者対応であることへのスイッチの切り替え、情報収集や患者集積をする場所取りなど、同時に多くの処理を迅速に行うためには、基礎的な救急知識や手技を十分に理解しておくことが必要であることを学びました。



## 消防団（消防団指揮幹部科（分団指揮課程・指導員研修）

11月21日（月）・22日（火）の二日間で分団指揮課程・指導員研修を実施しました。

災害の大規模化、特殊化に伴い、現有の資機材、人員を用いて最大限の効果を発揮するためには、指揮者の指揮能力の向上は大変重要です。分団を率いる指揮者として必要な知識の習得と、災害時の情報収集に有効なドローン運用の基礎を座学で学ぶとともに操縦訓練も実施しました。



## 消防団（オフロードバイク研修）

11月25日（金）、県内の消防団バイク隊に所属する団員を対象に、オフロードバイク取扱研修を実施しました。

宮崎県交通安全協会 佐藤 定光 氏（元県警交通機動隊員）を講師に迎え、「オフロードバイクとは・・・」という基本的事項、車体特性やオフロード走行の注意点及び走行方法を座学で学んだ後に、屋外にて乗車姿勢、基本動作及び急発進や急制動、障害物走行など充実した訓練を行いました。今回は、入校生が2名ということで、2輪免許を保持する本校教官も一緒に受講しました。



## 消防操法指導員研修

11月28日（月）から30日（水）の3日間で、消防操法指導員研修（ポンプ車、小型ポンプ、小型ポンプ積載車）を実施しました。

今回は、消防操法実施要領の変更部分について研修を行いました。

消防操法実施要領等に関する資料は、消防学校ホームページに掲載していますので、活用ください。



## 12月の主な行事

- 救急科修了 12月14日（水）
- 予防査察科 12月12日（月）～12月23日（金）

宮崎県消防学校  
担 当：伊豆元 優一（いずもと ゆういち）  
電 話：0985-56-0555 FAX:0985-56-1475  
E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp